

【音源アラカルト】(その2)

~ ジョージ・ガーシュウィン名作ミュージカル序曲集と
ジュディ・ガーランド1964年のカーネギーホールコンサート ~

残暑をガーシュウィンの序曲集とガーランドの名唱で夏ばて解消の一助? に .

「本日の試聴曲」

1. ガーシュウィン・オン・ブロードウェイ(L P :CBS / SONY 25AC 332)から

本LPは、ガーシュウィンの名作ミュージカルの「オーヴァチュア」をオリジナルスコアをシンフォニー・オーケストラのためにアレンジし、マイケル・ティルソン・トーマスが初演したもの .

(1) OH , KAY! (7分12秒)

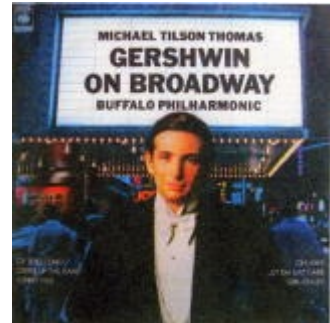
Someone To Watch Over Me, Clap Yo' Hands 他

(2) FUNNY FACE(5分53秒)

Funny Face, S ' Wonderful , My One And Only 他

(3) GIRL CRAZY(5分45秒)

I Got Rhythm, Embraceable You, But Not For Me 他



2. ジュディ・アット・カーネギー・ホール(L P :CAPITOL ECS-40207-08他)から

本アルバムは、ミス・ショービジネスと呼ばれたジュディ・ガーランドの最高傑作で、またカーネギー・ホールでの最高のポピュラー・コンサート・ライブと云われています。(1961年度グラミー賞アルバム・オブ・ジ・イヤー受賞)

(1) 序曲(4分35秒)

(2) 捧げるは愛のみ(6分20秒)

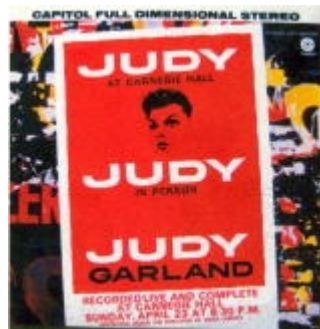
(3) ザッツ・エンターテインメント(2分31秒)

(4) 霧の日(2分55秒)

(5) 虹の彼方(4分20秒)

(6) スワニー(2分42秒)





「ジュディ・アット・カーネギー」 CSP-1077~8

右のコピーは、発売当時(1961年)の「スウィングジャーナル」レコード評



- (1)序曲(2)メドレイ~オールモスト・ライク・ピーニング・ラブ、ジス・キャント・ビ・ラブ(3)ドウ・イット・アゲイン(4)ユー・ゴー・トウ・マイ・ヘッド(5)アローン・トウゲザー/(6)フー・ケアーズ(7)ブッティン・オン・ザ・リッツ(8)ハウ・ロング・ハズ・ジス・ビーン・ゴイング・オン (9)ジャスト・ユー・ジャスト・ミ-(10)ザ・マン・ザット・ゴット・アウェイ(11)サン・フランシスコ(12)アイ・キャント・ギブ・ユー・エニシング・バット・ラブ(13)ザット・エンターテイメント/(14)カム・レイン・オア・カム・シャイン(15)ユー・アー・ニアラ(16)霧の日(17)イフ・ラブ・ワー・オール(18)ジング・ウエント・ザ・ストリングス・オブ・マイ・ハート(19)ストーミー・ウェザー/(20)メドレー~ユー・メード・ミー・ラブ・ユー、フォー・ミー・アンド・マイ・ギャル、ザ・トロリー・ソング(21) ロッカ・バイ・ユア・ベイ・ビー(22)虹の彼方(23)君去りし後(24)シカゴ
ジュディ・ガーランド(v o)
オーケストラ指揮モート・リンゼイ

今アメリカで一番売れているポピュラー-LPがこのガーランドのカーネギー・ホール・リサイタルである。海外の諸雑誌がこぞって絶賛している記事を見て、一日も早く聴きたいと思っていたのだが、いよいよ日本でもアメリカそっくりのアルバム入り2枚組のLPとして発売してくれることになった。

海外の評判通りの素晴らしいレコードだ。2枚4面を聴き終っても、またはじめからききたくなるほどの魅力をもっている。勿論、ガーランドの歌はジャズではない。ミュージカル風の歌だが、その歌には一つ一つ魂がこもっていて、聴き手を圧倒する。ガーランドは一時アル中で再起不能といわれたが、彼女の半生を地で行くような映画「スター誕生」で見事にカムバックし、その芸風にはそれ迄になかった深味と豊かな人間性を反映するようになってきたが、このレコードの歌にも、彼女が歩んできた波乱にみちた人生経験が非常なプラスとなって生きている。アル・ジョルスンと並んでショー・ビジネスの歴史に長く記録される大歌手といっても過言ではない。

選ばれた20数曲は有名な小唄ばかりで、いずれも見事な出来だが、とくに快唱として、(2)(8)(9)(10)(12)(14)(16)(19)(21)(22)(24)などを挙げたい。彼女のテーマ・ソングでもある「虹の彼方」などは涙なしには聴けない絶唱である。

彼女の歌は、ミッドウェル風といっても、いわゆるブロードウェイの本格ミュージカルとはちょっと違って、ポピュラーとミュージカルの間期的な存在で、その流れは、パット・鈴木や雪村いづみにみられる。

雪村いづみのような歌が好きなヴォーカル・ファンには絶対聴き逃せぬLPである。日本ではあまりなじみのないガーランドの歌を思い切って発売した英断をたたえたい。文句なしの5つ星を捧げよう。

(¥4,000)

(岩浪洋)